

令和6年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和南高等学校）

（学校番号 s 51）

目指す学校像	文武において高きに挑み、深く学び、地域社会・国際社会に貢献することができる「知・徳・体」の調和がとれた人材を育成する学校
重点目標	1 自己実現…主体的に学習して自己実現を図る生徒を育成する教育体制の構築を推進 2 文武自考…主体的に取り組む生徒を育成するため活力と特色ある教育活動を推進 3 情報発信…コミュニティ・スクールとして積極的に情報発信を行い信頼される学校づくりを推進

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学校運営協議会による評価			
年 度 目 標				年 度 評 価（月 日現在）			実施日 令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	【現状】 進学重視型単位制、55分授業、週34単位、年8回の土曜授業というシステムが定着。現役4年制大学進学率は10年連続80%を超えており、昨年度は94.6%となり過去10年で最高となった。 スクール・ミッション、スクール・ポリシーを継続する。 【課題】 ・学校推薦型選抜、総合型選抜の比率は依然として高いが、一般選抜の比率も高まっている。その結果、現役4年制大学合格数は増となり、より高みを目指し第一志望を諦めない生徒を育成する。 ・全年次でタブレットを所持する完成年度である。授業改善と授業環境の整備を両輪とし『スクール・ミッション、スクール・ポリシー』を周知し実現する ・市教委と連携し「南高2030プロジェクト」について、継続して検討。	授業力向上による確かな学力の向上	・ICTを活用した「個別最適な」「協働的な」「探究的な」学びの授業改善を推進する。 ・授業改善検討チームを発足し、更なる授業改善を推進する。 ・南高2030プロジェクトチームを継続し、将来構想について検討する。	・生徒・保護者アンケートでICTを活用している90%以上。 ・生徒・保護者アンケートで授業満足度80%以上。 ・外部講師による指導力向上研修を年2回以上実施。 ・教員相互の授業観察を実施。 ・南高2030プロジェクトチームにて、年度内に将来構想案を作成。				
		着実なキャリア教育の推進と生徒の進路実現に向けた計画的な取組	・3年間の計画的な進路指導の実施により進路希望の実現。 ・共通テストまでの指導を充実させ、現役大学進学率の増加。	・生徒アンケートで進路行事を計画的に行っている90%以上。 ・大学入学共通テストの受験者90%以上。 ・現役大学進学率90%以上。 ・国公立大学合格者20名以上。 ・早慶上理・GMARCH合格者80名以上。				
2	【現状】 文武自考に基づき、すべての活動に主体的に取り組む生徒を育成するため、活力と特色ある教育活動を目指し実践している。生徒の学校行事に意欲度は96.1%、部活動が盛んである意識度98.7%と非常に高い。総合的な探究の時間を活用したカリキュラム・マネジメントを今後も研究していく。 【課題】 ・授業、生徒会・委員会活動、部活動、学校行事など全ての活動に、生徒の主体的な活動を積極的に組み入れる。 ・総合的な探究の時間の再構築2年度目となり、課題設定・解決能力を育む活動に深化させる。 ・授業に探究活動を更に積極的に組み入れる。	主体的に取り組む生徒を育成するための特色ある教育活動	・3年間を見通した総合的な探究の時間を計画し、主体的に取り組む生徒の育成。 ・生徒が主体的に取り組む学校行事の実施。 ・2年次海外研修旅行や海外交流事業への積極的な参加。	・総合的な探究の時間にて、グループ探究からプレゼンテーションを実施し、主体的な学びを実現。 ・生徒・保護者アンケートで学校行事に意欲的に参加できている95%以上。 ・生徒アンケートで学校生活に満足している90%以上。 ・2年次生徒アンケートで研修旅行に積極的に活動した95%以上。 ・海外交流事業への応募者数の増加。				
		部活動の更なる活性化	・生徒の主体性を引き出し、成就感や達成感を感じさせる部活動の実践。	・生徒アンケートで部活動が盛んである98%以上。 ・部活動への加入率90%以上。 ・各部活動の大会や発表会等の結果向上。				
3	【現状】 コミュニティ・スクールとして地域との連携が評価され、今後も連携を継続する。本校の魅力をもっと発信するため、入試制度の変更を踏まえ、生徒募集のやり方についてブラッシュアップしていく必要がある。 【課題】 ・本校教育活動への理解を更に深めてもらうため、より一層の地域に開かれた信頼される学校づくりの推進が必要。 ・生徒募集を見据えた更なる情報発信の推進が必要。 ・学校説明会の工夫、中学校・塾への説明を実施、効果的な情報発信などを検討する。	コミュニティ・スクールとして開かれた学校づくり	・近隣小中、辻地区、市及び南区との連携を推進。 ・学校運営協議会との連携・協働の充実。	・辻小学校と連携してチャレンジスクールの実施。 ・近隣小中、辻地区、市及び南区と連携事業の実施。 ・学校運営協議会を通して地域と有益な連携・協働の実施。				
		組織的、積極的な情報発信	・計画的な学校広報活動の推進。 ・学校HPの更新や新たな学校情報発信。	・学校説明会、部活動体験の参加者数の増加。 ・学校HP更新回数の増加。 ・中学校・近隣塾等への学校説明の実施。 ・学校広報活動により志願倍率1.3倍以上。				